

# しゃかいふくしほうじんむさし 社会福祉法人六三四

# 六三四たより



しゃかいふくしほうじんむさしほうじんほんぶ 社会福祉法人 六三四 法人本部 〒187-0042 東京都小平市仲町364番地1

TEL 042-343-1895 FAX 042-346-0283 e-mail [musashi@musashi1895.jp](mailto:musashi@musashi1895.jp) HP-URL <http://musashi1895.jp/>

## じぎょうしょいちらん 事業所一覧

### ちいきしえんぶ せいかつかいごじぎょう 地域支援部 生活介護事業

- ・ せいかつ 生活リハビリセンター六三四
- ・ せいかつ 生活リハビリセンター雅
- ・ せいかつ 生活リハビリセンター絆

### せいかつしえんぶ きょうどうせいかつえんじょじぎょう 生活支援部 共同生活援助事業

- ・ せいかつ 六三四ホーム
- ・ おむすび(短期入所)
- ・ さいかケアホーム

### そうだんしえんぶ 相談支援部

- ・ けいかく そうだん 計画相談支援 しょうがいじ 障害児相談支援 じぎょう 事業
- ・ スカイサポートセンター

## ご挨拶

しゃかいふくしほうじんむさし  
社会福祉法人 六三四  
じむきょくちょう やまぐち たける  
事務局長 山口 建

しんねんどをむかえまして、みなさまからのしゃかいふくしほうじんむさしじぎょううんえいに対するご理解・ご協力にこの場を借りて感謝申し上げます。しんねんどは、しんがた新型コロナウイルスかんせんしょうにより、ちいきふくしを取り巻く環境、事業運営は大きく変化しました。ひとひとのかかなか、けいせいななか、けいせいの場は、かんせんのリスクがある環境と認識され、こうりゅうの場の閉鎖がちいきでは起こりました。そのようななかでも、コロナ禍の過ごし方や予防対策の浸透により、あらたなせいかつスタイルに慣れてきている部分は感じますが、孤立・貧困などの問題も同時に明らかになっており、新型コロナウイルスの広がりによる不安や恐怖等、負の連鎖が広がっていることも事実です。

いつまで続くのかも分からないこの状況ではございますが、ご利用者様やご家族様、地域の方々とともに、何ができるのかを常に考えて、ぶんしきじこうをねん1年にしたいと考えております。特に本年度は新たなプログラム構成、新たな活動スタイルを確立していく年であると位置つけて計画を策定しております。しゃかいふくしほうじんむさしとして今後もみなさまと共に築きご期待に添うべく職員一同さらなる精励を期して邁進いたす所存でございます。しんねんども、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 通所事業について

地域支援部 部長 河合 雄三

新春の候、時下ますますご清栄のことと申しあげます。

障害保健福祉関係予算は年々膨らみ令和3年度予算案は2兆2,351億円となり、前年度と比較しても929億円の増加となっており、良質な障害福祉サービスや重度化・高齢化を踏まえた事業の在り方等が求められています。

さて、振り返ると昨年は、新型コロナウイルス感染症の一年で、毎年恒例の日帰り旅行が中止となり、感染症対策のために日々の活動にも工夫が必要な年でした。しかしながら、皆様のご協力により、風船アートや手作りおやつイベント、ぶどう狩りや食事会など感染対策に努めながら、多くの行事を実施することができました。今年度も、ご利用者様ご家族様に安心して六三四・雅・絆をご利用いただけますよう、「見える化」を図りながら、活動やイベントの充実に努めてまいります。

私が福祉に携わりたいと思ったきっかけは、人に手を貸した時に「ありがとう」と言われた一言でした。自分でも人の役に立つことができるのかと福祉の仕事に就き、駆け足で進んだ18年でした。今では手伝う、助けることだけが「ありがとう」ではない、時には見守りその人の力を引き出すことも「ありがとう」に結びつくこと。本当に困った時に頼れる場でありたい、そのために今自分たちに何ができるかを考える日々です。現在、社会福祉法人六三四では通所事業所は3ヶ所あり、生活介護の指定を受け、それぞれの施設カラーを持ち味に、障害特性に応じた活動を行っています。

今後も、ニーズに耳を傾け、個別性を大事にしながら将来を見据えた活動「ありがとう」に繋がるよう心掛けていきたいと思っております。

## 生活リハビリセンター六三四

生活リハビリセンター六三四では、日中の取り組みとしてレザークラフトやあんでるせん手芸の制作、身体を動かすことを意識した取り組みとして、Wii スポーツやヨガ体操を取り組み、地域社会への参加を目的とした清掃活動など行って来ました。コロナ禍でも感染拡大防止を意識し外出ができない中、利用者様への満足度向上も考え、事業所内で取り組める活動を構築してきました。コロナ禍で日帰り旅行や食事会が行えない中、代替え案としてお楽しみ会を開催いたしました。バルーンアートやタコ焼きパーティーなど、利用者様に楽しんでいただけるイベントとなりました。令和3年度も新しい取り組みやイベントを見つけていき、利用者様が楽しんでいただけるように職員一同頑張っていきます。



## 生活リハビリセンター 雅

生活リハビリセンター雅では、「また通所したい」「今日も楽しかった」など前向きな気持ちになって頂けるよう日々支援に取り組んでいます。日中活動では主に、車椅子を利用されている利用者様が多いこともあり、同じ体勢による身体機能の低下や褥瘡予防の為、マットに降りて頂き、身体の取り組みを行っております。その他に、コロナ禍で遠出が出来ないストレスを少しでも緩和出来るよう、近所の神社を散歩したり、利用者様数人でボウリングや日頃触れる機会が少ない紙芝居の読み聞かせ・ミュージックセラピーを行い、肢体不自由者のみならず視覚・聴覚障がい等様々な特性の方に五感を通じて有意義な時間を過ごして頂けるように心がけております。また、専門職によるリハビリ訓練を実施し、身体機能の維持・向上に取り組んでおります。日頃とは違う楽しみ、自主性の尊重を大切にしています。



## 生活リハビリセンター 絆

生活リハビリセンター絆の活動の中に草むしりという活動があります。熊野宮神社の大家さんよりお願いを受けまして、当事業所横にある土地の草むしりをおこなっています。利用者様も地域貢献を意識し毎日楽しく取り組まれています。また絆周辺で温室栽培をおこなっています。温室で育てた苗を外の耕した土に移して成長段階をみなで楽しんでいます。



## 生活リハビリセンター 絆の年間の行事

絆では桜の季節と紅葉の季節にドライブに出かけています。送迎コースとは違うドライブを皆さん楽しんでいらっしやいます。また毎月開催の音楽クラブでは季節の歌を歌ったり音楽に合わせて太鼓や鈴でリズムを取ったり、利用者様からのリクエストにもお応えし童謡から最近の曲まで幅広い音楽を楽しんでいます。右の写真は豆まきの様子です。一人一つの紙製の杵に皆さんに協力してもらい作ったお豆を鬼役の職員に投げました。このように絆では季節に沿ったイベントをおこなっています。納涼会のスイカ割りや盆踊り、忘年会の合唱やゲーム、お食事会など利用者様にいつもと違う変化を楽しんで頂けるように利用者様からのご要望を聞きつつ職員一同楽しみながら企画しています。

今後の予定

4月29日（木）	昭和小・開所日	6月4日（金）	保育園交流会（絆）
4月30日（金）	お食事会（絆）	6月14日（月）	メンバー懇談会
5月3日（月）	憲法記念日・開所日	6月22日（火）	防災避難訓練（絆）
5月4日（火）	みどりの日・開所日	7月13日（火）	メンバー懇談会
5月5日（水）	こどもの日・開所日	7月22日（木）	海の日・開所日
5月14日（金）	メンバー懇談会	7月23日（金）	スポーツの日・開所日・ 納涼会（六三四・雅）
5月27日（木）	防災避難訓練	7月26日（月）	六三四たより発行

まいしゅうげつ すい もくようび  
（毎週月・水・木曜日）  
まいしゅうすい きんようび  
（毎週水・金曜日）  
まいしゅうげつ きんようび  
（毎週月～金曜日）

こべつりがくくんれん てらだ  
個別理学訓練（寺田PT）  
こべつげんごくくんれん こばやし  
個別言語訓練（小林ST）  
こべつげんごくくんれん なるみ  
個別言語訓練（鳴海ST）

新人職員紹介

岸ノ上 貴美	2月4日	生活リハビリセンター 雅
岩尾 伊津加	2月16日	生活リハビリセンター 雅
藤崎 雄成	3月1日	六三四ホーム
中井 秀行	4月1日	スカイサポートセンター

日本財団から8年ぶりに助成をいただきました。ありがとうございます。日産/キャラバン車いす対応車（車いす4名）です。ご利用者様の送迎に使わせていただきます。日産自動車販売株式会社の坂入さまと写真を撮らせていただきました。

